

日本学生支援機構奨学金 申請手順書

貸与奨学金は将来返還が必要となるものです。必要か否かご家族等と相談してから申し込んでください。

手順1 申請書類を用意する

■大学 HP から申請書類一式をダウンロードします（申請書類は学生課3番窓口でも配布します）。

■貸与奨学金案内（p4-19）を熟読し、奨学金制度の概要を確認します。

家計基準は、**学生本人（と配偶者）の収入**が審査の対象となります（父母等の収入は審査対象外）。

■本手順書、貸与奨学金案内（p20-26）を参照しながら、申請書類を用意します。

提出された書類は返却しませんので、必ず本人控用のコピーを取ってください。

手順2 申請書類を大学へ郵送提出する 10/19ㄨ

提出一覧表を確認しながら、手順1で用意したすべての書類を東京学芸大学へ郵送提出します。

提出期日：2023年10月19日（木） 必着

提出先：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 学生課奨学金担当

諸注意：封筒の表面に「**奨学金申請書類（大学院予約）在中**」と朱書きしてください。

簡易書留、レターパックライト等、郵送記録の残る方法で郵送してください。

手順3 メールエントリーを行う

奨学金の申請は、日本学生支援機構 HP のスカラネットから行います。

スカラネット入力時には大学の ID と PW が必要になるため、メールで請求してください。

大学で郵送提出書類を受理した後、メールの返信にて ID と PW をお伝えします。

メール宛先：**syougaku@u-gakugei.ac.jp**（東京学芸大学 学生課 奨学金担当）

メール件名：**【奨学金申請】R5 大学院予約採用（氏名）**

メール本文：**①現在の所属（〇〇大学〇〇学部）、②氏名、③電話番号（日中連絡がつく番号）**

④申請書類の郵送日（投函日）

※メール送信後、1週間以内に返信が無い場合は再度ご連絡ください。

手順4 web 申請（スカラネット入力）を行う 10/26ㄨ

ID・PWを大学からメールで受け取り、期日までにスカラネット入力を行ってください。

【入力期日】2023年10月26日（木）

【入力先】スカラネット <https://www.sas.jasso.go.jp/scholarnet/> 入力可能時間 8:00-25:00

※スカラネット入力時の最後に表示される受付番号は、必ず控えてください。

大学から日本学生支援機構へ推薦を行い、採用結果は2024年1月中旬頃に郵送にてご連絡します。

採用候補者となり大学院に進学した場合は、**3月下旬～4月に進学届を提出する**ことで、奨学金の振込が開始されます。

配布書類

大学 HP (<https://www.u-gakugei.ac.jp/scholarship/>) から、または学生課3番窓口で入手します。

※ ★の書類は貸与奨学金案内に挟み込まれています。ダウンロードする場合は「★【2024 入学大学院予約】申請書類一式」に入っています。必ず A4 サイズの紙に両面印刷して使用してください。

- 申請手順書（本紙）
- 提出一覧表
- 貸与奨学金案内
- ★確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書
- ★スカラネット入力下書き用紙
- ★収入計算書（前年用・本年見込用）

申請書類の作成

下記以降を参照し、以下の申請書類を期日までに大学担当までご提出ください。

1. 提出一覧表
2. 確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書
3. 成績証明書 ※東京学芸大学に在籍中、または過去 10 年以内の東京学芸大学卒業生は提出不要です。
4. 奨学金振込口座の名義・口座情報がわかるもの（通帳、キャッシュカード、web 通帳等のコピー）
5. 選考結果通知用レターパックライト
6. スカラネット入力下書き用紙
7. 収入計算書（前年用・本年見込用）
8. 収入に関する証明書類（コピー可） ※該当者は、配偶者の定職収入の証明書も必要です。

1. 提出一覧表

連絡先、長期履修等の有無を記入し、提出書類に不備不足がないことを確認☑して同封します。

2. 確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書

「貸与奨学金を申し込む前に特に知ってほしい大切なこと」をよく読み、黒色又は青色のボールペンで記入し、提出してください。本人控え用に提出前にコピーを取っておきましょう。

住所は、住民票の記載と異なってもよいので、最新の現住所を記入します。

3. 成績証明書（厳封不要）

教職大学院・修士	大学（学部）の成績証明書
博士	大学院（修士・教職大学院）の成績証明書

公印のある原本。厳封されていなくてもかまいません。東京学芸大学に在籍中または過去 10 年以内の東京学芸大学卒業生は提出不要です。成績証明書にて科目の単位取得年度が分からない場合は、成績通知書など取得年度がわかる書類を併せて提出してください。

4. 奨学金振込口座の名義・口座情報がわかるもの（貸与奨学金案内 p8）

通帳、キャッシュカード、web 通帳等のコピー等を提出してください（A4 サイズ）。

奨学金振込口座は本人名義の普通預金口座に限ります。一部利用できない金融機関があります。

5. 選考結果通知用レターパックライト

郵便番号・お届け先 To: あなたの住所・氏名等を記入 (おなまえの「様」は削除しないでください)
 ご依頼主 From: 空欄
 品名: 「書類」と記入

6. スカラネット入力下書き用紙

下表を参考に記入してください。記入後は必ず本人控コピーを取ってください。

表紙	
研究科の専攻コード・受付番号	記入不要
ログイン	
識別番号 (ユーザ ID・PW)	記入不要 (書類提出後に大学よりメールで交付)
申込選択	
「(1) 予約採用 (a) 国内の大学院への進学予定者」	
D - あなたの入学 (予定) 先情報・在学情報	
D 1 (2) 課程	教職大学院: 「専門職大学院 (その他)」 修士: 「修士・博士前期」 博士: 「博士・博士後期」
D 1 (3) 研究科	教職大学院・修士: 「教育学」 博士: 「連合学校教育学」
D 1 (4) 専攻コード	記入不要
D 1 (6) 昼夜課程	「昼」
D 1 (8) 修了予定年月	教職大学院・修士: 「2026年3月修了 (見込) 予定」 博士: 「2027年3月修了 (見込) 予定」
D 1 (9) 正規の修業年限 ※長期履修、教員免許コースは要申告	教職大学院・修士: 「2年0か月」 ※教員免許コースは3年0か月 博士: 「3年0か月」
E - 奨学金貸与額情報	
E 1 (3) 再貸与の希望の有無	過去に大学院の同じ課程区分で第一種奨学金を借りたことがある場合、「はい」を選択し、過去の奨学生番号を記入
E 3 (1) 入学時特別増額 希望有無	入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「はい」を選択 ※奨学金案内 p8 の要件を満たす必要があります
E 4 (1) 利率の算定方法	「a.利率固定方式」または「b.利率見直し方式」 (参考: 2023年3月貸与終了者の利率は、a:0.905% b:0.300%)
I - あなたの所得情報	
I 1 あなたの収入について	収入計算書 (本手順書 p4~5) を作成し、同じ情報を記入 「0万円」となる項目は空欄にしてください 配偶者の給与所得は、給与所得控除前の年収を記入
J - あなたの研究情報	
PCで入力・印刷したものの貼付でも可、1.2.は全員記入、3.は博士志望者のみ記入	
K - 家庭事情情報	
PCで入力・印刷したものの貼付でも可	

7. 収入計算書 貸与奨学金案内 p22-25 参照

収入計算書は家計基準の選考（奨学金案内 p7-8）のために作成します。

スカラネット入力下書き用紙の「1. あなたの所得情報」には収入計算書と同じ内容を記入してください。

家計基準は**基本的に、前年（2022年1月～12月）の収入に基づいて選考しますが**、本年見込収入が前年から大きく変動する場合は、本年（2023年1月～12月）の見込収入に基づいて選考します。

■収入計算書の書き方

- ① 収入計算書（前年用・本年見込用）に学生番号、氏名等を記入します。
 - ② 後記「8. 収入に関する証明書類」を参照し、提出が必要な「必要書類」を準備します。
 - ③ 収入計算書「前年用」「本年見込用」の金額欄を記入します。
- ※ 収入に大きな変動がない場合、本年見込用は【収入の状況】欄上段に「○」をつけ、金額欄は空欄にしてください。
- ※ 必要に応じて、裏面や余白に収入金額の計算式や補足事項等を記入してください。
- ※ 収入金額が授業料（年額 54 万円）、学費、生活費等の支払いに合理的な金額であるよう申告してください。金額が少なすぎる場合は不備として再提出が必要になります。なお、本年見込収入を 0 万円としないようお気をつけください。（本年見込収入が 0 万円の場合は前年収入で選考されます）

計算式・補足事項の記入例

- ・ 給与明細 12 か月分の合計金額★円。
- ・ 2023 年 1～3 月の月平均収入が●円、4～12 月の見込収入は●×9 カ月で▲円。合計■円。
- ・ 2022 年 8 月開始のアルバイトを 2023 年 12 月まで継続予定（2022 年の源泉徴収票に記載の金額は 6 か月分）。2023 年見込収入は 12 か月分のため、2022 年源泉徴収票に記載の金額の 2 倍。
- ・ アルバイト 1 の本年見込収入は前年と同じ。

8. 収入に関する証明書類（全てコピー可） 貸与奨学金案内 p22-25 参照

■提出が必要な「収入に関する証明書類」の確認 | 収入の変動の有無の判断

以下に該当項目がある場合は「収入が前年から大きく変動した」とみなして書類をご準備ください。

- 2023 年 1 月から申込日までに終了した定職、アルバイト、奨学金等がある。
- 2023 年 1 月から申込日までに開始し、既に金銭が支払われた定職やアルバイト、奨学金等がある。
- その他の理由で年間収入が「前年 > 本年」または「前年 < 本年」となる。

該当項目がない

該当項目がある

	前年から変動なし 前年収入で選考	前年から変動あり 本年見込収入で選考
提出が必要な「収入に関する証明書類」	・ 前年収入の証明書類	・ 前年収入の証明書類 ・ 本年見込収入の証明書類（変動があるもの）
	定職に就いている配偶者がいる場合→「その配偶者の定職収入の証明書」	

■収入の証明書の例（全てコピー可）

下記を参考にして、収入計算書に記入する金額の根拠となる書類をご提出ください。

証明書はできるだけ **A4 サイズの紙にコピー**したものをご提出ください。

	前年収入の証明書(2022年1月～12月)	本年見込収入の証明書(2023年1月～12月)
		<ul style="list-style-type: none"> ・変動しない項目は、本年見込の証明書不要 ・申込月までに終了したものは計上不要
定職 アルバイト 配偶者収入	「令和4年分所得の源泉徴収票」又は「令和4年分の確定申告書(控)の第1表と第2表」又は「給与支払証明書(勤務先発行)」	「年収見込証明書(勤務先発行)」又は「直近3ヶ月以上の給与明細書」
父母等からの給付	収入計算書(前年用)の裏面に、父母等給付者が署名し、給付年額を記入	収入計算書(本年見込用)の裏面に、父母等給付者が署名し、給付年額を記入
奨学金	奨学金の受給額が分かる書類 「奨学生証」「採用通知書」「返還確認票」「スカラネットPSの詳細情報画面」等	奨学金の受給額が分かる書類 ※申込時点で貸与・給付の実績がない場合は、本年見込として計上不要(本奨学金含む)。

■よくあるQ&A

Q1 4つ以上のアルバイトをしている場合、収入計算書はどのように書けば良いですか？

A1 アルバイト1・2に収入金額の大きいものから記入後、アルバイト3欄に残りをまとめ、収入計算書裏面に「アルバイト3は、勤務先Aの●円と勤務先Bの▲円の合計★円」等と記入してください。スカラネット下書き用紙のアルバイト3は、勤務先「その他」職業「その他」としてください。

Q2 自分の勤務形態は定職ですか。アルバイトですか。

A2 常勤(フルタイムで週5勤務)の場合は定職、それ以外は全てアルバイトです。

Q3 基準となるのは、その月に稼いだ金額ですか。その月に入金された金額ですか。

A3 その月に入金された金額を基準としてください。

Q4 収入の証明書の準備が提出期限に間に合いません。

A4 提出期限より前に担当までご相談ください。書類を提出しない場合、書類不備で申請不可となりますのでご注意ください。なお、提出できる書類は期限内にご提出ください。また、本年見込収入のうち、9～12月分は、1～8月の月平均収入を用いて推算しても構いません。

Q5 源泉徴収票、給与明細等を無くしたので提出できません。

A5 勤務先に再発行を依頼してください。提出期限に間に合わない場合はA4をご参照ください。

Q6 2023年3月卒業の際に奨学金が終了しました。収入計算書にはどのように書けば良いですか。

A6 2022年1月～12月に貸与・給付された金額を前年収入として計上し、証明書をご提出ください。2023年1月～3月に貸与・給付された金額は本年見込収入に含めないでください。

Q7 配偶者の定職収入は、収入計算書のどこに書けば良いですか。

A7 収入計算書には配偶者の収入を書く欄がありません。スカラネット下書き用紙に記入してください。

(参考) 奨学金の保証制度について | 貸与奨学金案内 p15-19

保証制度は「人的保証」または「機関保証」のどちらかを選択します。

機関保証	<ul style="list-style-type: none">・機関保証は、保証機関（協会）に保証を依頼し、保証料を支払い、連帯保証を受ける制度です。・貸与月額から保証料を差し引かれた金額が口座に振り込まれます。・奨学金返還時に、返還が滞り、代位弁済が行われた場合も、あなたの債務は無くなりません。自分で借りた奨学金は自分で返す必要があります。・奨学生本人の連絡先を照会するための「本人以外の連絡先」を指定する必要があります。 【申請時】指定した人の氏名、生年月日（和暦）、続柄、住民票住所、電話番号の入力が必要です。 【採用後】指定した人による、返還誓約書への署名（自署）が必要です。
人的保証	<ul style="list-style-type: none">・人的保証は、機構が定める条件を満たす人に「連帯保証人」と「保証人」を依頼し引き受けてもらう制度です。両者は奨学生が奨学金を返還しなかった際に奨学生に代わって返済義務を負います。その旨をご説明の上、依頼し、承諾を得てください。選任できない場合は機関保証を選択します。 【申請時】連帯保証人と保証人それぞれの氏名、生年月日（和暦）、続柄、住民票住所、電話番号、勤務先、勤務先の電話番号の入力が必要です。 【採用後】連帯保証人と保証人それぞれの、返還誓約書への署名（自署）、印鑑登録証明書の提出、印鑑登録証明書の実印による押印が必要です。奨学金の貸与月額を増やす時も同様です。

(参考) 返還免除制度について ※第一種奨学金のみ、第二種奨学金は対象外

特に優れた業績による返還免除

大学院第一種奨学金の貸与奨学生であって、在学中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に奨学金の全部または一部が免除される制度があります（貸与奨学金案内 p11 参照）。なお、「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」または「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受ける博士課程の学生は適用対象外となります。申請時期は貸与終了年度の12月末を予定しています。

特に優れた業績による返還免除<教職大学院・修士内定制度>

令和6年度に修士課程・専門職学位課程へ進学する予定の大学院第一種奨学金貸与奨学生を、学内選考のうえ返還免除内定候補者として推薦する制度があります。申請時期は進学前の令和5年12月末です。

特に優れた業績による返還免除<博士進学時内定制度>

令和6年度に博士課程へ進学する大学院第一種奨学金貸与奨学生を、学内選考のうえ返還免除内定候補者として推薦する制度があります。本制度は、博士課程進学時に「特に優れた業績による返還免除者」に内定することによって、博士課程進学のインセンティブを付与し給付的効果を充実することを目的としています。申請時期は、進学後の令和6年12月末を予定しています。

(参考: <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/index.html>)

【問い合わせ窓口】

東京学芸大学 学生課学生支援係（奨学金担当） 中央2号館南講義棟2階3番窓口

TEL: 042-329-7187 (平日 8:30-12:00 13:00-16:45) Email: syougaku@u-gakugei.ac.jp